

大学図書館で使える英会話力を育成する

独自の英会話研修実施から「大学図書館英会話集：名古屋大学中央図書館カウンターでの対応」の作成・公開まで

目的・趣旨 |

大学のグローバル化が進む中、名古屋大学でも留学生や外国人教員が増加し、附属図書館でも日常的にこれらの利用者への英語での対応が必要となっています。そのため、全学図書系職員のカウンターでの英会話力強化を目的に、図書館カウンター業務に特化した独自の英会話研修を実施しました。その英会話研修のテキストをもとに編集し直したのが、『大学図書館英会話集－名古屋大学中央図書館カウンターでの対応－』です。

研修に参加できなかった職員にも学習の機会を設けるため、自習しやすいような工夫を加えて編集し冊子としてまとめました。さらに、米国人ネイティブによる音声を収録した電子書籍版も作成しました。

これらの教材は、名古屋大学附属図書館のWeb サイトから公開しています。



「大学図書館英会話集」 表紙

実施内容 |

1. 英会話研修

カウンター担当者を中心とする全学図書系職員約 130 名を対象に、現場のカウンター対応に必要な英会話力を学ぶため、平成 22 年度から平成 23 年度にわたって図書館独自の英会話研修を実施しました。1 回 40 分の 6 人編成 7 クラスと集中講義 2 クラスを設け、講義の回数は総計 174 回を数えました。

講師は留学生支援担当職員（派遣）として採用し、テキストは独自のものを作成しました。

研修は、実際のカウンター業務を想定した実践的な内容で、最後には、受講者がそれぞれ所属の図書室の案内ツアーを英語で行いました。また、キャンパスが離れた医学部分館、保健学図書室の図書系職員を対象にした集中研修も実施しました。

○研修テキストの準備

テキストは実際のサービスをもとに担当掛と相談してまとめ、留学生支援担当職員の協力によりサービスごとの英語ダイアログを作成しました。更に、英会話研修の各クラスでテキストの内容についての意見交換も行い、より一層の充実を図りました。

2. 『大学図書館英会話集－名古屋大学中央図書館カウンターでの対応－』の編集・発行

英会話研修で作成したテキストをもとに、より使いやすくなるように工夫を凝らして編集し直し、B5 判 96 ページの冊子を平成 24 年 3 月に発行しました。更に、米国人ネイティブによる音声を収録した電子書籍版を平成 24 年 10 月に発行しました。

○構成

『大学図書館英会話集』は、大きく分けて業務編、コラム、館内ツアーの3つのパートからなっています。

業務編では、閲覧業務、相互利用業務、参考調査業務を全33パートに分けて、実際によくあるカウンターでの対応を想定したダイアログを用意しています。

館内ツアーでも、実際に名古屋大学中央図書館の館内ツアーができるように実践的なシナリオを掲載しています。また、館内ツアーに役立つ基本表現のページも用意しました。

○学習を助ける工夫

基本的な語彙を Vocabulary として欄外にまとめ、ダイアログの中で紹介した表現の応用、関連する表現を紹介する Useful Expressions、お役立ち情報を紹介する Tips の欄も設けました。更に、コラムとして、聞き取りやすい英語の話し方も紹介しています。また、英語表現にバリエーションを設け、多くの会話表現を学習できるようにも心掛けました。

実施成果 |

○英会話研修の成果

英会話研修には、名古屋大学附属図書館の図書系職員（非常勤職員を含む）の約40%に当たる54名が参加しました。研修実施直後に行ったアンケートでも、「内容は知りたいものであった100%」、「テキストは分かりやすかった100%」、「今後活用できる内容であった89%」と高い評価を得ました。

参考文献・URL |

大学図書館英会話集：名古屋大学中央図書館カウンターでの対応

<http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/jspui/handle/2237/16378>

・電子書籍版 http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/inq/registration_epub.html

連絡先 |

名古屋大学附属図書館情報サービス課参考調査掛

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL: 052-789-3680

研修受講後には、留学生等に対する職員の対応にも変化が見られ、英語で話しかけられても落ち着いてサービスできるようになりました。

○『大学図書館英会話集－名古屋大学中央図書館カウンターでの対応－』の成果

冊子は、名古屋大学附属図書館の各図書館・室のカウンターに常備され、時には冊子を示しながら説明を行うという使われ方もしています。各国立大学や近隣の大学図書館へも送付し、リポジトリでも公開しています。リポジトリからは、平成23年5月の公開から平成25年8月までに、10,000件を超えるダウンロードがありました。また、電子書籍版も平成25年4月から8月までに100件以上ダウンロードされています。

今後の展開・課題 |

『大学図書館英会話集』の電子書籍版は、汎用性を考慮してEPUB形式を採用しましたが、現状ではビューアーごとの違いが大きく、PCでの動作環境としては特定のビューアーに限定せざるを得ませんでした。より汎用的で使いやすい教材へと改良していくことが必要です。また、英会話学習は継続が大切です。実践的な図書館カウンター英会話を継続して学習できる環境を整備していくことが求められます。

今後は、『大学図書館英会話集』を活用したeラーニングによる自主学習の環境を構築する等、広く活用していただけるような学習環境の整備を進めていくことを計画しています。